

小郡市消防団

2019.11.9発行 第26号

■発行責任者／小郡市消防団 団長 田中保夫
■発行／小郡市消防団 広報委員会

ひとつずつ いいね! で確認 火の用心

(2019年度全国統一防火標語)

大規模災害に備えよ!!

「第10回
小郡・大刀洗地域防災訓練」

消防団員って男性ばかりじゃない!
女性消防団員を大解説!



今年は、ベテラン団員×若手団員
ふたりの団員が、消防団への想いを語ってくれました。

(写真)小郡市消防団 団長 田中保夫

連載企画 第2回

「消防団とわたしたち」

女性消防団員を大解説!

消防団には多くの女性団員が所属しています。仕事に家事に忙しい中、和気あいあいと、楽しく活動しています! 皆さんも参加してみませんか?



みんなで仲良く、
ハイポーズ♥

いざという時に
役立つ応急手当の
普及活動です!

活動事例報告会
での発表です!

消火訓練、
頑張ってます!

水防訓練も
全力です!

小郡市消防団は総勢249名で構成されています。地域の安全・防災力向上のため、日頃から訓練に励み、技術や知識の習得に努めています。

様々な職業、幅広い年齢層のメンバーが、それぞれ仕事等に無理がないように、お互いに協力しながら活動しています。

ぜひ、消防団に入ってみませんか。団員一同、心よりお待ちしております!

小郡市消防団



- 入団資格 18歳以上で市内に居住、勤務、通学している男女
- 活動内容 災害時活動・各種訓練・防災啓発等
- 任期 1年～
- 公務災害補償 消防活動中の負傷者等に対する補償制度あり
- お問い合わせ 〒838-0198 福岡県小郡市小郡255番地1
小郡市役所 経営政策部 総務課 防災安全係
TEL: 0942-72-2111(内線243)
<http://shobo.ogori.net/>

「第10回小郡・大刀洗地域防災訓練」

～大規模災害に備えよ!!～

9月8日、小郡市と大刀洗町が合同で防災訓練を行いました。両市町の住民の方々や関係機関をはじめ、消防団など約420名が参加しました。

『警固断層南東部を震源とする地震が発生し、小郡市・大刀洗町では震度6強を観測した。家屋倒壊や火災発生により、負傷者が続出。その後、局地的な大雨により、床上浸水等の被害が発生している』という想定で、地震及び水害対応訓練を行いました。



倒壊家屋 救出訓練
～チェーンソーを活用した救出～



消火 活動訓練
～建物火災の消火～



水害孤立者 救助訓練
～ボートを用いた救助～



積み土のう 活動訓練
～土のうを積みあげて越水を防ぐ～



連載 第2回

消防団とわたしたち

広報誌を手にとった皆さまに、消防団についてもっと知りたい。そんな想いから、現役消防団員に、消防団での活動について伺いました。
【インタビュー協力 写真右：米倉本部長(以下、米) 左：牟田機械員(以下、牟)】



対談者 プロフィール紹介

○団本部本部長
米倉 勝士(写真右)
入団24年目、53歳のベテラン消防団員。建設業の代表を務めながら、本部長の重責を担っています。そんな彼も、家に帰れば、2人の娘がいる普通のパパです。

○第5分団機械員
牟田 幸平(写真左)
入団4年目、36歳の若手消防団員。農業を営みながら、消防団での活動に精を出しています。新婚ほやほやで、奥さんと一緒にいることや新しい家庭をつくっていけることが幸せとのことでした。

米 消防団歴は牟田さんが4年目なんですね。入団のきっかけは？
牟 仕事で県外に出ていたのでありますが、地元に戻ってきた際に皆さんに誘われて入団しました。
米 正直、最初はどっただった？
牟 消防団がどんな組織かわからないままに入団したので、分団の集まりに出るのでさえ、かなり勇気が必要でした。
米 最初は皆そうだよ。私も入りたてのころは、鍛えられました(笑)
牟 米倉さんは、入団24年目になるんですね。そうですね、気付けばもうそんなにになります。もとは行政区の私設消防団にいて、その後、市の消防団に入って24年目になりました。

米 それだけ長く続けられた理由ってなんですか？
牟 活動のやりがいと、消防団員や地域とのつながりができることでしょうか。
米 わかります。私も火災の消火ですること、随分と意識が変わりました。
牟 どう変わったんですか？
米 責任感が生まれました。火災はすべてを燃やしてしまいます。命も財産も。火災にあわれた方の顔は今でも忘れられません。そんな火災の消火活動に、消防団は消防署員と連携して尽力し、消防署員が対応できない部分を補う、なくてはならない組織だと実感しました。

米 私もう思います。人とのつながりが、消防団に入って良かったと思う理由の一つです。それに私自身、消防団に入ってから地域に目を向けるようになりました。
牟 子どもが小学校に入るまで、地域とつながりを持つ機会は少ないですから。消防団活動は地域やそこに住む人とのつながり、きっかけになります。
米 最後に、広報誌を手にとった皆さまへ、メッセージをお聞かせください。
牟 消防団は、得難い経験や人とのつながりができる特殊なボランティアだと思います。正直、活動はきついです。厳しい訓練もあります。でも大変さ以上に、得られるものは大きいです。
米 そうですね。消防団は、普通では考えられないくらい自分を成長させてくれるものです。活動自体も、無理はしなくていいし、しないでほしい。皆で力を出し合いながら、災害への備えとなりましょう。

米 消防団員や地域とのつながりというのは？
牟 消防団員は職種、年齢もバラバラです。いろんな人にめぐり会え、仲間ができます。会社や仕事での関係とは違ったものです。こういった人間関係は、作りたくてもなかなか作れないものなので、ものすごい財産です。
米 私もそう思います。人とのつながりが、消防団に入って良かったと思う理由の一つです。それに私自身、消防団に入ってから地域に目を向けるようになりました。